

施策番号	1402		
施策名	自立した地域生活への移行促進		
概要	障害のあるひとが地域社会のなかで安心してくらすための保健医療施策を充実させるとともに、福祉施設や精神科病院から地域生活への移行を促進する。		
担当局・部室	保健福祉局・障害保健福祉推進室	共管局・部室	子ども若者はぐくみ局・子ども若者未来部
上位政策	14 障害者福祉		
施策に関する主な分野別計画等	支えあうまち・京都ほほえみプラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	28年度	29年度	30年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト	
1 居宅介護等の利用時間数(時間)	b	b	185,378	199,655	206,300	96.8%	b	1.00	
2 グループホーム等の利用者数(人)	a	a	772	828	748	110.7%	a	1.00	
3 自立支援医療の受給者数(人)	c	a	35,744	34,807	35,744	97.4%	b	1.00	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	28年度	29年度	30年度回答					有効回答者数	評価
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1 障害のあるひとが、みずから必要な福祉サービスを選択し利用することで、住み慣れた地域でくらしやすくなっている。	c	c	18 4.5%	103 25.9%	192 48.2%	55 13.8%	30 7.5%	398	c
2	-	-							-
3	-	-							-
4	-	-							-
5 -	-	-							-
		c	c	市民生活実感調査総合評価					c

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感		
(重み付けの理由) 障害のあるひとの自立した地域生活移行を促進するという、対象が限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果が反映されにくいと考えられるため、客観指標を重視する。					29 年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。						
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 <input type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input checked="" type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・障害のあるひとの在宅生活を支える福祉サービスの利用時間数・利用者数は増加しているが、「どちらとも言えない」の回答が4割を超えていることから、障害のあるひとの地域生活に対する関心と理解が十分に広がっていないことが考えられる。					28 年度	B

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		30年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		29年度 決算額	30年度 予算額		
1	障害児通園(児童デイサービス等)事業運営補助	49,535	49,500	良い	子ども若者はぐくみ局
2	児童療育センター運営事業	17,699	17,791	悪い	子ども若者はぐくみ局
3	京都市障害児タイムケア事業	83,809	80,234	悪い	子ども若者はぐくみ局
4	軽度・中等度難聴児に対する補聴器購入費助成事業	2,257	2,217	良い	子ども若者はぐくみ局
5	児童福祉センター療育事業委託	120,718	120,718	良い	子ども若者はぐくみ局
6	心身障害児者総合支援事業	1,691	1,692	普通	子ども若者はぐくみ局
7	児童発達支援事業所等促進事業	14,921	8,718	普通	子ども若者はぐくみ局
8	障害児施設給付費(市独自軽減分)	102,381	123,007	—	子ども若者はぐくみ局
9	重度心身障害者医療費支給事業	2,365,909	2,420,640	良い	保健福祉局
10	外国籍市民重度障害者特別給付金支給事業	16,339	17,967	良い	保健福祉局
11	発達障害者支援センター運営事業	81,290	81,151	普通	保健福祉局
12	心身障害児(者)訪問療育指導事業	11,729	8,630	普通	保健福祉局
13	在宅心身障害児(者)療育支援事業	25,176	26,487	普通	保健福祉局
14	心身障害児者レスパイトサービスモデル事業(元気家族リフレッシュサポート)	15,005	15,262	良い	保健福祉局
15	介護従業者研修	1,826	1,591	普通	保健福祉局
16	障害児者ホームヘルプサービス(家庭奉仕員)	275,909	268,646	普通	保健福祉局
17	京都国際社会福祉センター運営補助	1,935	1,924	良い	保健福祉局
18	身体障害者福祉会館運営	97,509	88,961	普通	保健福祉局
19	京都ライトハウス運営助成	130,702	130,702	普通	保健福祉局
20	身体障害者療護施設運営費給付	27,039	9,475	良い	保健福祉局
21	盲人ホーム運営助成	8,148	8,153	普通	保健福祉局
22	民間障害福祉施設運営助成	352,330	354,011	良い	保健福祉局
23	精神科救急医療システム	103,956	102,508	普通	保健福祉局
24	地域精神保健福祉対策	9,450	9,735	良い	保健福祉局
25	精神科病院実地指導・実地審査	10,101	10,149	良い	保健福祉局
26	障害者地域生活支援センター運営事業	452,412	453,340	良い	保健福祉局
27	障害者自立支援医療特別対策	30,048	30,586	良い	保健福祉局
28	こころのサポート地域活動助成事業	21,159	21,927	普通	保健福祉局
29	あんしん生活緊急サポート事業	8,776	7,304	かなり良い	保健福祉局
30	福祉ホーム運営補助(身体・精神)	8,592	8,776	悪い	保健福祉局
31	重度障害者等利用事業所支援事業	214,561	342,255	普通	保健福祉局
32	障害のあるひとへの24時間相談体制の確立(障害者地域生活支援拠点等の整備)	20,182	23,983	良い	保健福祉局
33	地域リハビリテーション推進センター	552,240	553,648	良い	保健福祉局
34	障害児・者福祉サービス利用支援策「新京都方式」	260,275	261,531	—	保健福祉局
35	障害者休日・夜間緊急対応支援事業	0	2,387	—	保健福祉局
36	京都市子ども保健医療相談・事故防止センター(京(みやこ)あんしんこども館)	36,566	36,793	—	子ども若者はぐくみ局
37	京都市健康増進センター(ヘルスピア21)	69,979	69,979	—	保健福祉局
38	聴覚言語障害センター管理運営	17,008	17,477	—	保健福祉局
39	飛鳥井学園管理運営	8,988	9,458	—	保健福祉局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・障害のあるひとの自立した地域生活への移行を促進するため、一人一人のニーズに応じたサービス提供を行うとともに、家族の介護負担を軽減する観点からも、きめ細やかな在宅生活支援施策の実施や、グループホームの設置促進等に努めていく。
 ・また、サービス利用等に当たって、必要な情報を提供し、自己選択・自己決定が可能となるよう相談支援の環境を整えていく。

施策名	1402	自立した地域生活への移行促進
-----	------	----------------

指標名	居宅介護等の利用時間数（時間）
-----	-----------------

担当課	障害保健福祉推進室	連絡先	2 2 2 - 4 1 6 1
-----	-----------	-----	-----------------

1 指標の説明
 障害のある方に対する居宅介護等事業（ホームヘルパーの派遣等）の一月当たりの利用時間数

2 指標の意味
 障害がある方の自立した地域生活への移行に向けた居宅介護等の進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等
 算出方法：年間延べ利用時間数÷12月
 出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	28年度	29年度		数値	根拠	達成度
数値	185,378	199,655	14,277時間増	206,300	京都市障害福祉計画を実現するために必要となる時間数の見込み（28年度194,563時間、29年度206,300時間、30年度217,206時間、31年度228,563時間、32年度239,920時間）	96.8%

全国順位	中長期目標			根拠
	数値	目標年次	達成度	
数値	239,920	32年度	83.2%	第5期京都市障害福祉計画

備考
 目標値及び中長期目標について、平成30年度以降の第5期京都市障害福祉計画を反映

5 評価基準
 最新数値の目標値に対する達成度が
 a：100%以上
 b：90%以上～100%未満
 c：80%以上～90%未満
 d：70%以上～80%未満
 e：70%未満

6 基準説明
 目標値に対する達成度が100%以上をaとし、以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

28	29	30
b	b	b

指標名	グループホーム等の利用者数（人）
-----	------------------

担当課	障害保健福祉推進室	連絡先	2 2 2 - 4 1 6 1
-----	-----------	-----	-----------------

1 指標の説明
 グループホーム・福祉ホームの利用者（支給決定者）数

2 指標の意味
 障害がある方の自立した地域生活への移行に資する各種ホームの活用状況を示す指標

3 算出方法・出典等
 算出方法：グループホーム等利用者全数調査
 出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	28年度	29年度		数値	根拠	達成度
数値	772	828	56人増	748	過去3年間の最高値（平成27年度）	110.7%

全国順位	中長期目標			根拠
	数値	目標年次	達成度	
数値				

備考
 （参考：過去3年の利用者数）
 平成25年度：645人
 平成26年度：699人
 平成27年度：748人

5 評価基準
 最新数値が
 a：過去最高値以上
 b：過去最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上
 c：上中間値未満～平均値以上
 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上
 e：下中間値未満

6 基準説明
 当該指標については民間部門の寄与度が高いため、過去3年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。
 最高値：748人（平成27年度）
 平均値：697人
 最低値：645人（平成25年度）

7 評価結果

28	29	30
a	a	a

施策名	1402	自立した地域生活への移行促進
-----	------	----------------

指標名	自立支援医療の受給者数（人）
-----	----------------

担当課	障害保健福祉推進室	連絡先	222-4161
-----	-----------	-----	----------

1 指標の説明

自立支援医療費（更生医療，育成医療，精神通院医療）の受給者数

2 指標の意味

障害がある方の自立した地域生活への移行に向けた医療費給付による支援状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：各医療の受給者全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	28年度	29年度		数値	根拠	達成度
数値	35,744	34,807	937人減少	35,744	過去4年間の最高値（平成28年度）	97.4%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値					

備考	(参考：過去4年の受給者数)
	平成25年度：30,489人
	平成26年度：33,574人
	平成27年度：31,367人
	平成28年度：35,744人

5 評価基準

最新数値が

a：過去最高値以上

b：過去最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上

c：上中間値未満～平均値以上

d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上

e：下中間値未満

6 基準説明

当該指標については、障害のある方の増加に伴い、医療の受給者数も増加が見込まれることから、過去4年間の数値を基に、最高値以上をa，平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。
最高値：35,744人（平成28年度）
平均値：32,794人
最低値：30,489人（平成25年度）

7 評価結果

28	29	30
c	a	b